

# た + す + と

2009年9月

第8号

市民活動や地域活動をしている方、  
これからしたいと思っている方に役立つ  
情報を隔月で発信しています。

## ●もくじ●

P 2～3 たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介⑤

**史都多賀城万葉まつり実行委員会**  
**生涯学習100年構想実践委員会**

P 4 第1回マネジメント講座開催報告

**すぐに役立つ！広報カレレベルアップのコツ**

P 5 さぼせん広場～たがサポ出前プロジェクト～開催報告

**総合体育館に「出前」してきました！**

たがサポブックレビュー

**『ご近所パワーで助け合い起こし**

**－これが住民流「福祉のまちづくり」だ』**

P 6 **たがサポ事業紹介**

**自動販売機売り上げのご報告**

『たがサポ』とは？

『たがサポ』の機能って？

## 今月のひとコマ



大人気の自動紙折機。その優秀さに利用者も  
スタッフもビックリ！感動ものです。

→詳しくは下のコーナーへ

たがサポに新たなサービスが加わりました。大量の紙を折るのに便利な自動紙折機です。昨年、利用者のみなさんから要望が多かったものの一つです。

市民活動を行っている団体の中には定期的に大量のチラシやニュースレターを作成する団体もあります。印刷したものを二つ折りや三つ折りにして完成ということもあるようですが、何千枚もの印刷物をいちいち手作業で折ると人手や時間がかかって大変ですよね。自動紙折機を使えば、ボタンをピピッと押してあっという間に紙折りができます。折り方も二

つ折り、三つ折りはもちろん片袖折りや観音折り、さまざまな折り方に対応してくれる優れものです。

印刷機の近くに置いているので印刷したものを次々と紙折りができることから一連の作業もスムーズに行えます。もちろん無料で利用できます。

利用者のみなさんからも「便利だねえ。」という声を多数いただいています。今後も利用頻度が高くなる可能性があります。使い方がわからない場合は気軽にスタッフまでお声掛けください。

## たがサポを拠点に活躍中！～共同事務室入居団体紹介⑤

当センターの2階には、市民活動団体の簡易事務所として活用できる事務用ブースがあります。この事務用ブースを拠点としながら、さらにステップアップしようと活動する入居団体を紹介していきます。

第5回目は「史都多賀城万葉まつり実行委員会」と「生涯学習100年構想実践委員会」さんにお話を伺いました。

### たがじょう全体でつくろう！未来の万葉まつり

#### 史都多賀城万葉まつり実行委員会

##### ●市民が集う場所をつくりたい

多賀城市内では一年を通じて多くのおまつりが行われています。その中で、毎年10月に開催している「史都多賀城万葉まつり」は、おまつりを通して多賀城の歴史とロマンを広く市民に語りかけることにより、多賀城の魅力を発信することを目的としています。このおまつりの運営を行っているのが「史都多賀城万葉まつり実行委員会」です。昨年度は7000人が来場し、盛大なおまつりとなっています。

このおまつりは、実行委員会の前身でもある、生涯学習100年構想実践委員会まつり部会が市民総参加の場を多賀城市内で提供したいという思いから、当初は演芸発表会から始まりました。その後、万葉行列やステージ発表、茶席などを加えた今のおまつりの形態にし、さらに実行委員会形式にすることで一つの事業として独立させました。現在は、多くの市民が参加できる場を増やしていくために、万葉まつりのほか、野田の玉川で行われるあんどんまつりの実施や、あやめまつりの交流ステージなどにも参加しています。

##### ●市民参加型のおまつりをめざして

今年で12回目を迎える万葉まつり。多賀城のまつりといえば「万葉まつり！」といわれるようにしたいと実行委員会の吉田さん。「万葉まつりの日は駅からどこに行ってもおまつりが行われていて、一日中楽しめる多賀城にしたい。これを実現させるためには市民の力が必要不可欠」と語ります。まつりに訪れた観光客を街じゅうで歓迎するため、まつりの開催場所以外でも、万葉まつりの雰囲気味わうことができるような取り組みをしていきたいと考えているそうです。このように実行委員だけではなく多賀城市民全体で盛り

上げていく、市民参加型のおまつりにすることを目指しています。

その一歩として「野田の玉川あんどんまつり」では、多賀城小学校の児童と一緒にあんどんの修復作業を行い、おまつりに参加したくなるような仕組みも作っています。また、万葉まつりのメインでもある「万葉衣装行列」には多くの方に参加してほしいと考えています。しかし、貸出できる衣装にも限りがあるため、今回はより多くの人に参加できるように「万葉コンテスト」を開催します。個人が思い思いに万葉をイメージした衣装を着たり、踊ったり、歌ったりと、参加スタイルは自由です。参加資格は“万葉をイメージすることのみ”とのことです。

##### ●おまつりを一緒に盛り上げたい方を募集

実行委員会は現在72名で活動していますが、新しい人材がなかなか入ってこないことが課題の一つだそうです。実行委員は看板・横断幕の作成や衣装および小物作成、外部との交渉などのさまざまな分野で、子どもから大人まで年代を問わずに活動できる部会があります。

みなさんも実行委員の一員として自分のできる時にできる範囲で、企画の段階から多賀城を代表するおまつりを盛り上げていきませんか。

#### 史都多賀城万葉まつり実行委員会

〒985-0873

多賀城市中央2-25-3

多賀城市市民活動サポートセンターレターケースNo. 8

電話:022-368-1141 FAX:022-309-2460

(内線:541 代表:櫻井 茂男)

## ◎市民活動共同事務室とは

市民活動団体が簡易事務所として活用できる事務用ブースを備えています。パーティションで仕切られている中に、事務机とイスを用意しています。ちょっとした事務作業やパソコンを持ち込んだデスクワークも可能で、開館時間内ならいつでも利用できます。1ヵ月の使用料は1000円。入居団体はここを拠点としながら、3年間の入居期間中に自立をめざし、『たがサポ』のさまざまな機能を活用しながら活動しています。



# 世代を越えた交流と市民力の育成

## 生涯学習100年構想実践委員会

### ●多彩な企画力

生涯学習100年構想実践委員会（以下、100年構想実践委員会）では50代から70代までおよそ50名の会員が主に4つの部会（あすなる部・まなび部・ふれあい部・情報部）と会員以外も参加する物産研究会に分かれてさまざまな活動に取り組んでいます。市民講座の開催や男の料理教室、カルタ大会、小学生対象のクラブ活動、やかもち鍋の商品化などその内容は実に多彩です。

100年構想実践委員会は、「生き方多彩100年構想」という多賀城市の方針に基づき、市民の企画・運営による生涯学習の場の提供、学習環境の整備を目的としています。その活動も今年で15年目になりますが、設立当初は、行政主体だった活動も、今ではすべての企画が市民の手によって作られる市民主体の活動となっています。市民の力を育むため、会員一人ひとりが企画運営能力をつけることも活動の狙いになっています。

もちろん、子どもたちの宿泊研修などについては公共施設を利用するため行政から協力を得ています。また、市民の理解や協力を得るため「ゆめ多彩」という冊子を年3回発行し市内各戸に配布しています。このように多くの理解者を得ながら活動を展開しています。

### ●未来ある子どもの育成

100年構想実践委員会の企画には子どもを対象としたものがあります。将来に希望が見えない今だからこそ、これからの未来を作る子どもたちの育成に力を入れているそうです。100年構想実践委員会の数多い企画の中に子どもを意識したプログラムが多いのはそのためです。小学生を対象とした宿泊研修「夏休み交流会」や自然観察、工作、料理、茶道、マンガなどのクラブ活動を行う「あすなる教室」で子どもたちの自主性や創造性を育むサ

ポートをしています。昨年開催された第6回ゆめ大会では「子どもから見た高齢化社会」をテーマに市内の小・中学生10名が発表を行い、子どもが高齢化社会を考える場を提供しています。

「ただ漠然と活動するのではなくどこに目を向けるかが大切です。」と委員長の阿部豊子さん。社会の動きに目を向けながら市民のニーズに沿った企画を常に考えています。

### ●シニア世代の生きがい

100年構想実践委員会のシニア世代の会員は、笑顔を絶やさずいつも元気に活動しています。そのパワーの秘訣は、会員となる市民が主体となり企画を考え、行動することで活動の楽しさややりがいを感じていることにあります。阿部さんも100年構想実践委員会の活動があり、誰かに必要とされているからこそ「自分は生かされている。」と実感しているそうです。

仕事をリタイヤした人が好きなことをやるだけではなく、職場と同じように嫌なことや難題に取り組み、現役時代と同じように全神経を使わなければならない、という生涯学習についての説があるそうです。活動の中で苦しいことに直面したり、難題に取り組むからこそ本当のやりがいを感じ、いつまでも若々しくいられるのかもしれない。

100年構想実践委員会の活動に関心のある方は、ぜひ下記連絡先へ。新たな生きがいを見つけてみませんか。

### 生涯学習100年構想実践委員会

〒985-0873

多賀城市中央2-25-3

多賀城市市民活動サポートセンターレターケースNo. 9

TEL:022-364-8096(阿部)

第1回マネジメント講座開催報告

# すぐに役立つ！広報力レベルアップのコツ

市民活動や地域活動をしていると出てくるさまざまなお悩み。そんなお悩み解決のヒントとなるようなコツや考え方をお伝えするのが「マネジメント講座」です。

今年度の第1回目は、たがサポでも相談やお問い合わせの多い「広報」をテーマに開催。市民活動団体や町内会で活動する方など21名に参加いただきました。講座当日の内容から、みなさんの活動にもすぐに役立つ情報をピックアップしてお伝えします。

日時：平成21年8月8日（土）  
午後1時30分～4時30分  
会場：多賀城市市民活動サポートセンター  
大会議室  
講師：特定非営利活動法人  
せんだい・みやぎNPOセンター  
常務理事・事務局長 紅邑晶子さん

## ● 広報をする上で、デザインより大切なこと！？

講座ではまず、広報の基本的な考え方を学びました。「広報」というとデザインやテクニックに関心が向いてしまいがちですが、「どのように伝えるか」の前に、考えておかなければいけないことがあります。

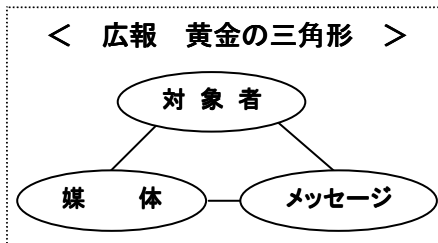
それは広報の目的です。会員向けのお知らせなのか、ボランティアを募集するためなのか、イベントのお知らせなのかなど、「なぜ広報をするのか」という広報の目的を確認することが大切です。あれもこれもいろいろなことを盛り込みすぎると結局伝わりにくくなってしまうため、目的を絞ることが必要です。

広報の目的が決まったら、次に「広報の5W2H」を考えます。

### < 広報の5W2H >

- What（何を）：内容は？
- Whom（だれに）：対象者はだれか？  
→ 会員など限定された人向け、活動を応援してくれる人向け、自分たちの団体のことをまったく知らない人向けなのかなど
- When（いつ）：広報の時期はいつか？  
→ 早すぎても遅すぎても効果的には伝わりません。
- Where（どこで）：どの地域が対象か、どの場所で実施するのかなど。
- Who（だれが）：広報しているのは誰なのか？  
団体名や担当者は誰なのか？
- How to（どのように）：どんな方法で？  
→ 新聞・テレビ・ラジオで取り上げてもらったり、チラシ・ポスター・広報誌など紙媒体、FAX・メールマガジン・ホームページ・ブログなどの電子媒体など、目的に合わせて必要な媒体を選んで広報します。
- How much（いくらで）：予算は？  
→ 広報にかかる予算を決めておきます。予算に合わせて、印刷はカラーなのか白黒なのか、何部作成するのかなどが決まってきます。

また、広報には「黄金の三角形」というものがあります。「対象者を絞り」「特定のメッセージ」を「最も効果的な媒体」を使って行うというものです。これに「タイミングをうまく図る」とよい広報につながります。



## ● お手本は身近なところにある

市民活動や地域活動の団体の広報は、プロがやるものではありません。初めてチラシなどをつくるときには、どうしたらよいかわからないという方も多いようです。

そんなときには、同じような活動をしている団体のものを参考にしている方も多いのではないのでしょうか。実は、新聞に載っている広告、まちで見かけるフリーペーパーやポスターなど、企業が出しているものもよいお手本になるのです。講師の紅邑さんのお勧めは、「自分がデザインやキャッチコピーなどいいなと思ったものをストックしておくこと」だそうです。自分でチラシなどを作るときには、そのお手本をまねしてみるということも、上手な広報への第一歩ということです。



たがサポでは、さまざまな団体が発信しているチラシ・パンフレットなどが自由に見ることができます。また、広報に役立つ書籍やツールをご用意しています。広報にお悩みの方は、お気軽にスタッフにご相談ください。



さぼせん広場  
～たがサポ出前プロジェクト～

市民活動サポートセンターが  
総合体育館に「出前」してきました！

「さぼせん広場」とは、市民活動サポートセンターの機能を丸ごとセンターの外へ持ち出し、市民のみなさんに気軽にご利用いただくというものです。年に5～6回サポセンを飛び出して、市内各公民館や市役所ロビー、体育館などで開催しています。8月2日（日）は、多賀城市総合体育館で行われた「健康フェスティバル」に出前してきました。

当日は心配されたお天気が一転晴天となり、健康を気遣うご年配の方から夏休みを楽しむ子どもまで大勢の市民が参加しました。

さぼせん広場のブースでは、たがサポ利用団体の「宮城根っこの会」がビワの葉を煮出した健康茶をふるまい、およそ130の方が試飲しな

がら、活動に理解を深めていただきました。

また、たがサポスタッフによる市民活動相談や多賀城を中心に活動している方々の活動紹介なども実施し、多くの市民のみなさんに楽しんでいただきました。



今回のさぼせん広場は秋に予定しています！スケジュールは別途お知らせしますので、ぜひご来場くださいね！

たがサポブックレビュー

6月1日より貸出を始めた書籍の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『ご近所パワーで助け合い起こし  
-これが住民流「福祉のまちづくり」だ』

著者：木原孝久  
発行：筒井書房 発行日：2006年6月



介護保険が整備されてきた今、福祉はプロに…という考え方が定着しつつありますが、本書では、本来、地域住民同士の助け合いでなされるべく福祉が、プロの手に委ねられてきていることに警鐘を鳴らし、“めざす福祉”は、住民の助け合いで実現することを、多数の事例をもとに紹介しています。

この本のおもしろいところは、住民の助け合いの様子が、マップに矢印で書き込まれている

ところ。ある一人暮らしの老人宅には「話し相手」「おすそわけ」「買い物」といった矢印が広範囲から何本も集まっています。こういった何本も助け合いの矢印を集めることができる人は「助けられ上手さん」と呼ばれます。困っている人を助けるときに比べ、自分が困った時に「助けて！」と声を上げることは極めて難しいのだそうです。また、マップには「世話焼きさん」「仕切り屋さん」「お誘い屋」など、得意な資質を生かした「ご近所福祉」の担い手が多数登場します。

この本に紹介されていることは特別なことではなく、昔からのご近所づきあいの意味を考えると、“めざす福祉”は住民の助け合いで実現できることに気付かされます。地域福祉に興味のある方、自分なりの地域への関わり方を探している方におススメの一冊です。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書（報告書、パンフレット等）を販売しています。詳しくはお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらう機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことで、団体をより深く理解することができるとともに、団体の支援にもつながります。

■たがサポ文庫

情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。



# たがサポ事業紹介

平成21年度に「たがサポ」で行う講座やイベントをご紹介します。みなさんのご参加をお待ちしています！



## ●NPOいちから塾

NPOについて知りたい方へ、わかりやすくお伝えする講座です。NPOの基礎情報と、毎回テーマを決め、テーマに沿った活動の紹介もします。

日程:9月28日(月)10:00~11:30

テーマ「子育て」

## ●マネジメント講座

市民活動団体や町内会、自治会、生涯学習団体の組織運営に必要な知識やコツをお伝えする講座です。

【第2回】 日程:10月24日(土)午後

テーマ「会議のコツ」

【第3回】 日程:12月12日(土)午後

テーマ「組織内の役割分担」



## 自動販売機 売上げのご報告

たがサポに入ってすぐのところにある自動販売機の売上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。(宮城中央ヤクルト販売株式会社様にご協力いただいています)

昨年度(平成20年6月~平成21年3月)の売上げの一部である85,280円で、市民活動・地域活動に関する図書58冊を購入いたしました。

購入した図書は1階情報サロン奥の「たがサポ文庫」にて閲覧・貸出をしています。

「たがサポ文庫」をみなさんの活動にぜひご活用ください！



## ■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的としています。

閉館時間:月~土曜日 午前9時から午後9時30分まで

日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで

休館日:毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)

年末年始(12月28日~1月4日)

交通案内:JR仙石線多賀城駅より徒歩12分

駐車場・駐輪場があります

## ■『たがサポ』の機能って？

### ①市民活動の場の提供

- ・貸室(有料)  
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
- ・交流サロン(予約不要・無料)  
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
- ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
- ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
- ・事務用ブース(1,000円/月)
- ・印刷作業室  
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)  
コピー機(10円/枚)

### ②市民活動に関する情報の収集・提供

- ・情報サロン  
市民活動に関するさまざまな情報があります。  
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、  
助成金情報、ボランティア情報、パソコン  
(作業・インターネット用/無料)

※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！

- ③市民活動に係る人材の育成・支援
- ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
- ⑤市民活動に関する相談への対応



多賀城市市民活動サポートセンター事務局の  
スタッフによるブログです。ぜひご覧ください！

<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

## ■たがサポは社会に支えられています

### □自動販売機の設置

たがサポ内に設置している自動販売機の売上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業:宮城中央ヤクルト販売(株)

### □印刷作業室のコピー機

印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



□発行:多賀城市市民活動サポートセンター

〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3

TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706

□発行日:2009年8月20日

□編集:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター